

<b>授業科目名</b>	助産管理論(2300268)		
<b>時間割名</b>	助産管理論(41209)		
<b>時間割担当</b>	服部律子		
<b>実施期</b>	前期	<b>単位数</b>	2 選択
<b>曜日・時限</b>	木・1		

### 授業の目標・概要

助産業務の特性と管理の原則を理解するとともに、助産業務管理の原理と技法について学ぶ。  
 助産業務特性と助産師の責務を理解する基礎として、助産業務の定義や目的・機能、関連する法規について学ぶ。また、管理の概念とその変化についても学ぶ。管理目標の設定・管理計画（人的・物的・業務）・展開・管理目標の到達度と評価、助産管理過程の一連について理解する。病産院における助産業務計画と調整について学習する。  
 助産所における助産業務管理と地域との連携について学ぶ。

### 学習の到達目標

1. 助産師の身分と責務を説明することができる。
2. 助産業務の特性と助産管理の基本的考え方を説明することができる。
3. 助産業務に関連する法律や制度について説明することができる。
4. 助産業務に関する安全管理について説明することができる。
5. 病産院における助産管理について説明することができる。
6. 助産所における助産管理について説明することができる。
7. 助産師の責務、助産業務の特性、助産管理の基本を踏まえ、多職種との連携と協働のあり方について考察することができる。

### 授業方法・形式

講義・グループワーク

### 授業計画

- 第1回 助産師の身分  
助産師の免許、助産師の業務権、助産行為と医行為
- 第2回 助産師の責務1  
届出義務、応召義務、医師に診療を求めさせる義務、証明書交付義務
- 第3回 助産師の責務1  
異常死産助産録の記載、助産録の記載、守秘義務
- 第4回 助産業務に関連した法律と制度  
妊産婦保護に関する法律、産科医療補償制度
- 第5回 助産業務の特性  
周産期の医療体制、リプロダクティブ・ヘルスを取り巻く状況  
助産師の活動の場
- 第6回 助産管理の基本  
助産管理とは、助産管理の理念、助産管理のプロセス
- 第7回 助産業務の評価  
ケアの質保証、業務の改善、評価方法、評価プロセス、機能評価
- 第8回 助産業務と安全管理の基本  
医療事故防止、感染管理、情報管理
- 第9回 災害と助産師活動  
災害への備え、トリアージ、災害時の助産活動
- 第10回 病産院における助産業務と助産管理1  
病産院での助産業務、病院組織と助産師、人事管理
- 第11回 病産院における助産業務と管理2  
周産期病棟での助産業務、病棟環境の管理
- 第12回 病産院における助産業務と管理3  
産科外来での助産業務、外来での助産管理、人材育成、助産師ラダー制度
- 第13回 助産所における助産業務と助産管理1  
助産所をめぐる動向、助産所の開設と法的責務
- 第14回 助産所における助産業務と助産管理2  
助産所での助産師業務、助産所での安全管理、助産所業務ガイドライン
- 第15回 助産活動と多職種連携  
地域での協働、多職種との連携、

### 成績評価の基準

筆記試験70%、課題20%、各授業後のリフレクション10%

### 授業時間外の課題

周産期医療や助産活動に関する報道などに関心を払い、積極的に情報を収集してください。  
 看護管理と連動させて理解するようにしてください。  
 看護で学習した関連法規を復習して授業に臨んでください。  
 授業時に提示した課題には積極的に取り組んでください。

## メッセージ

多様化する社会の中でニーズに即したケアを実施することや、安全に助産業務を行うことは我々助産師の責務です。この科目はその基本となる科目です。  
看護学での学びと関連付けながら、他の学生とも積極的に話し合う姿勢で受講してください。

## 教材・教科書

我部山キヨ子、毛利多恵子編著、助産学講座10 助産管理、医学書院  
日本助産師会助産所業務ガイドライン改定特別委員会、助産所業務ガイドライン2014、日本助産師会出版会

## 参考書

適宜、紹介する。